

君が代は
千代に八千代に腐れ

遺志の巖となりて
苔のむすままで



人民の宗教

「神を求めらるるなら人間の中に
求めなさい。貧しく、虐げ
られて来た人民こそは、神
ではないのか」

ラーマクリシュナ

「かつては神を信じない者を、
無神論者と言った。しかし新しい
宗教は、自己を信じない者
を無神論者と言う。
精神と肉体を鋼鉄のように鍛
えよ、働け、苦しんで戦っている
人民の中へ飛び込んで、共に働
け、共に戦え！ 右の頬を打た
れたら、すかさず打ち返せ！
これが新しい宗教だ。」

ヴィヴェカーナダ

人民の宗教

ラーマクリシュナは、19世紀中葉、混沌のベンガルに現れた“オニの仏陀、”と言われた聖者。文盲のバラモン苦行僧として、秘かに不可触賤民たちの便所掃除をしたり、道行く娼婦の前に土下座して“母なる女神、”の受難に涙したとも伝えられている。“完成、”後は、回教、キリスト教などを次々と“体験、”し、あらゆる宗教は唯一なる真理に至るための、様々な道であることを“実証、”し、宗教の何であるかを示した。

その教えは、弟子ヴィヴェーカーナンダによって、世紀末のアメリカ、ヨーロッパに伝えられ、近代物質文明に対する鋭い警句となった。数千年のインドの智慧の結晶である“ヴェーダ”、一元論哲学を、暗黒時代（カリ、ユーク、末法）の実践的哲学として復活させた彼を前にして、西欧知識人たちは、インドへ宣教師を送って来た自分たちの無知を恥じたと言う。

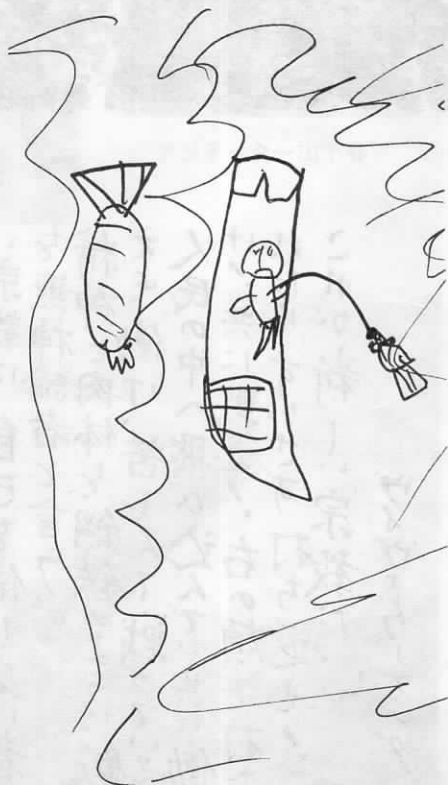
母国インドに対して彼は、イギリス植民地支配の下で、腐敗し、墮落した奴隷根性を厳しく糾弾し、“男らしい戦いの宗教、”を説き、インドナショナリズムに火をつけた。20世紀の幕明けと同時に、39才の若さで英雄的な生涯を閉じた後、彼がインド人民につけた火は、マハトマ・ガンディらの指導の下に“非暴力直接行動、”によるインド解放への、爆発的なエネルギーとなって結果するのである。（P.160参照）

表紙解説

絵 万葉（5才8ヶ月）額縁とレイアウト ポン。
（表紙）枝手久島鈍、無我利道場密部の図、無我利丸を出迎えている、山羊、猫、ニワトリ、犬がいる。枝手久山頂から降りて来るのは神々か？

（裏表紙）天国と地獄の図。中央にくもの糸、右に死神、左にエンマ大王。なみ作者の説明によれば、死神もエンマ大王も実は、枝手久大明神の変身だとか。

私立保育園（久志生活福祉館）には、万葉と妹の宇摩（2才4ヶ月）が通っているが、約十名の園児のほとんどが、両隣り賛成派部落の子供たち。日頃の仲良しにも関わらず、時には親から教え込まれて「ヒッピーの子は臭い」などと差別されることから最近、万葉は「賛成派は地獄行き、反対派は天国行き」という新説を、部落内所構わず大声で公表するため、親たちはヒヤヒヤものである。





人民の宗教	1
実践的革命論	
コミュン主義ナロードニキ革命	ポン 4
技手久闘争略年史	16
無我利道場アルバム	18
未だ生まれぬ子供達へ	タカオ 25
「オーイ みんなフロ炊けたよ」	ギャー 29
やさしいしはい	ヤッチャン 34
熱い心をもって生きていたい	ポン子 41
盗作随想1「魚里離れのこと」	新元博文 44
特集・状況展望	
PART I 琉球弧にて	ダマリ 46
PART II 琉球弧のかなた	ダマリ 63
★大付録 地図(琉球弧侵略・新大東亜共栄圏)	
戯曲 珍説 浦島太郎	歌劇派 無我利座 77
島人による“ムガリ”評	86
盗作随想2 「島を守る農」	博文 88
あぶり漁	ウルフ 91
はしぐっちゃんの記	ミオ 98
『考察。。。男の生理と住宅環境について』	エイキ 109
世紀末の大ロマン・人民劇場名作シリーズ奄美編	
魚里物語 無期限連続公演 その第1回	ポン 111
スクラップ帳	163
告示 漁業権裁判	164
次号予告	164
いも一れ(いらっしゃい)無我利道場	165
バイバイの一言	168